

第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/24】

この試合のプレー集計

1回戦

長崎県選抜

6	<table style="border: none; text-align: center;"> <tr><td>0</td><td>—</td><td>8</td></tr> <tr><td>1</td><td>—</td><td>5</td></tr> <tr><td>3</td><td>—</td><td>5</td></tr> <tr><td>2</td><td>—</td><td>6</td></tr> </table>	0	—	8	1	—	5	3	—	5	2	—	6	PSO
0	—	8												
1	—	5												
3	—	5												
2	—	6												

24 岡山県選抜

審判： 森林 和三
宇田川 佑里子

長崎県選抜	16	SH数	34	岡山県選抜
	1	速攻数	13	
	2	ST・SB	16	
	2	SH・P誘発アシスト	8	
	8%	GK阻止率	33%	
	4	EX反則数	4	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

第15回大会の開幕戦。奇しくも前回大会の開幕戦カードと同一対戦。前回は大激戦でPSOで岡山12-11長崎であったが、長崎はリベンジを果たしたいところ。

【1P】

伊東香織倉敷市長の”始球式”センターボールで第1ピリオド開始。最初の攻撃権を獲得した岡山がセンター⑨三輪が退水を誘発し、そこをが決めて岡山が先制。その後も、センター⑨三輪を中心とした攻撃力が長崎を圧倒し、ペナルティSH、速攻SHなどで連続得点。一気に大量8得点を奪った。長崎側もシュートにまで至るが、外周シュートばかりで岡山DFを崩せず、そうしたSHミスからの失点で大差が開く展開となった。

【2P】

劣勢の長崎は、3:33に④遊佐がセンターSHを決めて1点を返すが、岡山側の攻撃をなかなか止められず、このピリオドも点差を広げられる展開に。泳力のある岡山④丸山らに振り切られる場面が続いた。再開時のセットプレーでのボールキープ、センター位置へのパスがなかなか機能せず、実戦経験不足が目立ち、第2ピリオドを終えて長崎1-13岡山で後半勝負へ。

【3P】

徐々に試合に慣れてきた長崎、④遊佐と②松尾が連続得点で点差を詰める。しかし岡山側は長崎ボールを奪ってからの攻撃ですぐさま加点。長崎は岡山側の当たりに押されてからのパスミスが続く。ピリオド後半に得た退水攻撃でのシュートも止められ、そこからの逆襲で点差を広げられた。長崎側の応戦もあって、このピリオドは長崎3-5岡山(通算、長崎4-18岡山)。最終ピリオドの長崎の奮起に期待したいところ。

【4P】

このピリオドの先手は長崎。センター位置までボールを運び、②松尾がループSHを決め、長崎が6点目をあげた。しかし、その後はなかなかボールが繋がらず、岡山の猛攻を受け点差が広がった。最後、残り時間のない再開攻撃で長崎②松尾がミドルSHを決めるのが精一杯。

結局、長崎6-24岡山と大差がつき、長崎は昨年のリベンジを果たせず1回戦敗退。岡山は昨年以上の水球レベルを示した形で、上位進出の可能性を感じさせる一戦となった。